

令和7年度 新入会員研修 アンケート結果

実施日：令和7年5月19日、20日、26日

実施方法：SMASH

出席者数：1039名

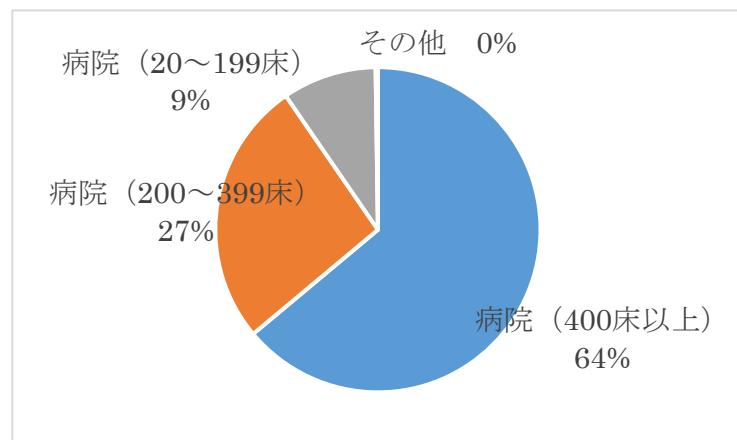
アンケート回答数：438名 回収率：42.2% 有効回答率：100%

1. 参加日、参加方法

	参加方法	人数
5月19日	会場	81名
5月20日	会場	145名
5月26日	会場	65名
	オンライン	147名

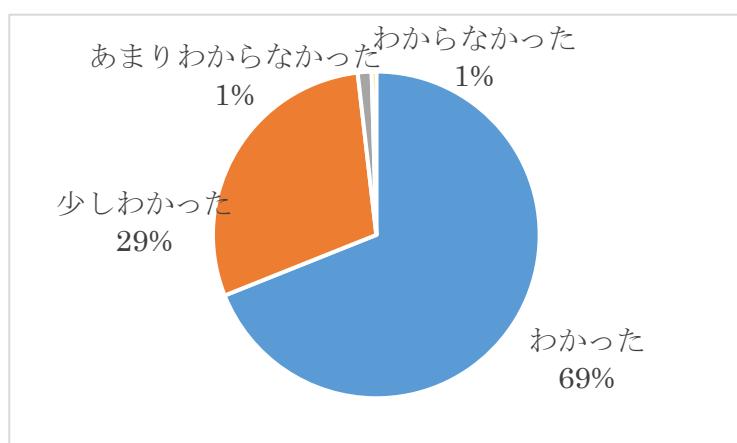
2. 所属施設

施設	人数
病院（400床以上）	280名
病院（200～399床）	116名
病院（20～199床）	41名
その他	1名



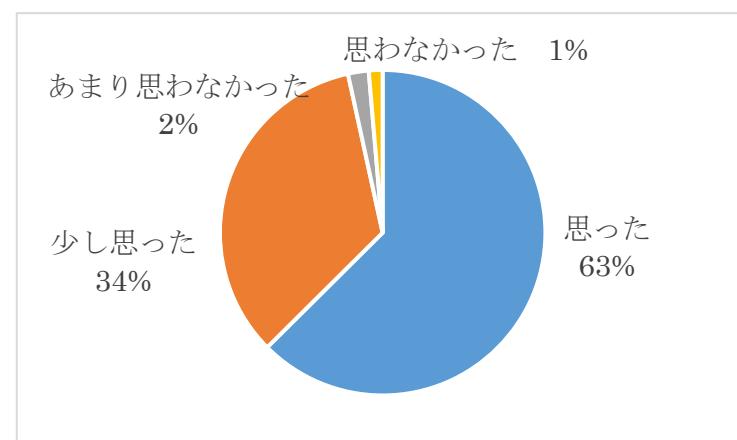
3. 職能団体としての看護協会の概要がわかったか

	人数
わかった	302名
少しあわかった	128名
あまりわからなかった	6名
わからなかった	2名



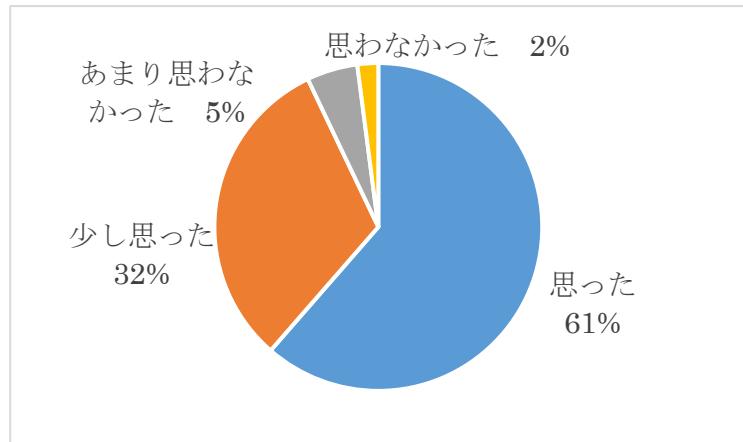
4. 講話は今後役立つか

	人数
思った	274名
少し思った	149名
あまり思わなかった	9名
思わなかった	6名



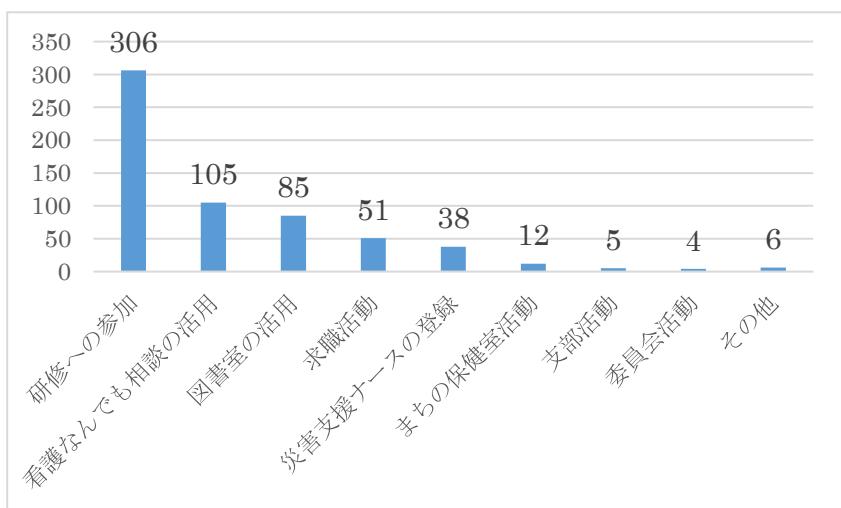
5. グループディスカッションは今後役立つか

	人数
思った	269名
少し思った	138名
あまり思わなかった	22名
思わなかった	9名



6. 今後活用または活動したい事業

	人数
研修への参加	306名
看護なんでも相談の活用	105名
図書室の活用	85名
求職活動	51名
災害支援ナースの登録	38名
まちの保健室活動	12名
支部活動	5名
委員会活動	4名
その他	6名



7. 感想等

(Copilot と Gemini による分類、/の前が Copilot、後ろが Gemini)

看護協会・看護連盟に関する理解 / 看護協会・看護連盟の役割理解

兵庫県看護協会や看護連盟の活動内容、特に看護師の働き方改革や賃上げへの政治的関与について理解が深まったという意見があった。これにより、自身の仕事が社会に与える影響や、より良い職場環境を築くための組織の役割を認識できたと思われる。

- ・看護協会・看護連盟の役割や活動内容を知ることができた。
- ・政治参加や賃上げとの関係を理解できた。
- ・会費の使い道や賠償保険についてもっと知りたいという声もあった。

他病院・同期との交流 / 共感と安心感

他の病院の同期や新人看護師も同じような悩みや不安を抱えていることを知り、「自分だけではない」という安心感を得られたという声が多数あった。グループディスカッションを通じて、お互いの経験や気持ちを共有できたことは、参加者の心の負担を軽くする大きな助けになったようす。

- ・他の病院の新人看護師と話せて安心した。
- ・同じ悩みを共有できて心が軽くなった。
- ・普段話せない人と話せて楽しかった。
- ・グループディスカッションが有意義だった。

自己理解・自己成長 / 自己成長と意欲向上

研修を通して、自身の成長を振り返ったり、今後の看護生活に活かしたいという前向きな意欲が生まれたという意見も多く見られた。他の参加者との意見交換や、講師のお話が、自己を見つめ直し、目標を設定する良い機会となつたようす。

- ・自分自身を見つめ直すきっかけになった。
- ・自己肯定感が高まつた。
- ・働く意味や看護師としての意欲が向上した。
- ・働きがいを見つけたい、継続していきたいという意欲。

失敗・ストレスとの向き合い方 / ストレスマネジメントの重要性

ストレスとの向き合い方や、ワークライフバランスの重要性について学ぶことができたという声があつた。自身の感情を理解し、適切に対処していくことの大切さを再認識していた。

- ・失敗談の共有で安心した。
- ・ストレスマネジメントの重要性を学んだ。
- ・自分だけじゃないと感じられて前向きになれた。

研修内容・講義への評価/ 今後の研修に活かしたい点

グループワークの時間がもっと欲しかつた、賠償保険や会費の内訳についてさらに詳しく知りたかつた、といった具体的なご要望があつた。

- ・内容が分かりやすく、丁寧だつた。
- ・講師の話が印象的だつた。
- ・精神面の話が参考になつた。
- ・もっとグループワークの時間が欲しかつた。

運営・事前案内への意見 / 今後の研修に活かしたい点

会場の空調に関するご指摘もあつた。

- ・持ち物や服装等の案内が少なく不安だつた。
- ・技術練習の場があることを知れてよかつた。
- ・無料で利用できるかなど、詳細をもっと知りたかつた。

